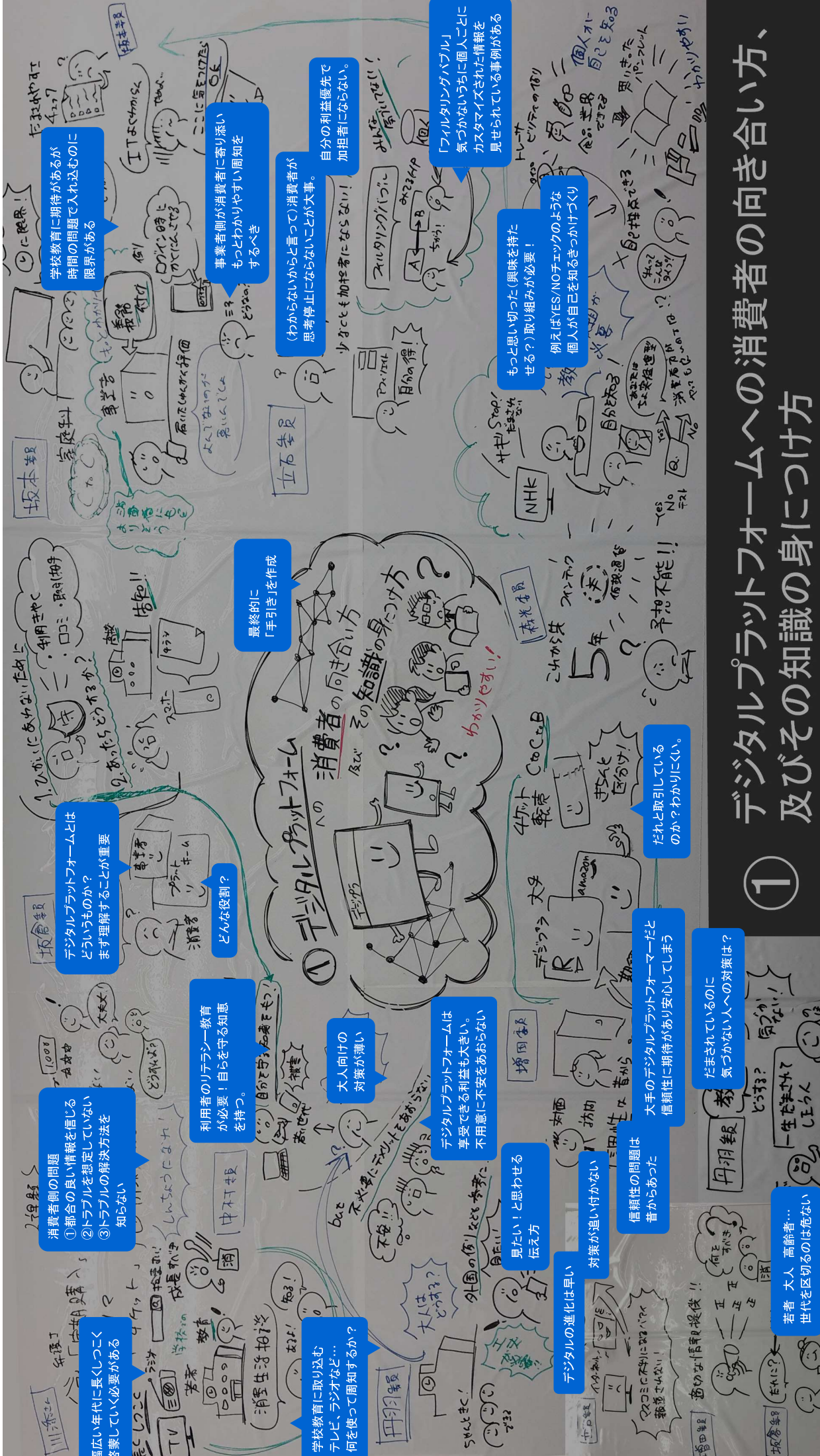




デジタルプラットフォームとは
どういうものか?
まず理解することが重要

消費者側の問題
①都合の良い情報を信じる
②トラブルを想定していない
③トラブルの解決方法を
知らない

幅広い年代に長くつづく
啓蒙していく必要がある

利用者のリテラシー教育
が必要! 自らを守る知恵
を持つ。

学校教育に取り込む
テレビ、ラジオなど...
何を使って周知するか?

大人向けの
対策が薄い

デジタルプラットフォームは
享受できる利益も大きい。
不用意に不安をあおらない

見たい! と思わせる
伝え方

デジタルの進化は早い
対策が追い付かない

大手のデジタルプラットフォームだと
信頼性に期待があり安心してしまふ

だまされているのに
気づかない人への対策は?

若者 大人 高齢者...
世代を区切るのは危ない

最終的に
「手引き」を作成

どんな役割?

もつと思いい切った(興味を持た
せる?) 取り組みが必要!
例えばYES/NOチェックのような
個人が自己を知るきっかけづくり

「フィタリングバブル」
気づかないうちに個人ごとに
カスタマイズされた情報を
見せられている事例がある

(わからないからと言って)消費者が
思考停止にならないことが大事。
自分利益優先で
加担者にならない。

事業者側が消費者に寄り添い
もつとわかりやすい周知を
するべき

学校教育に期待があるが
時間の問題で入れ込むのに
限界がある

デジタルプラットフォームへの消費者の向き合い方、 及びその知識の身につけ方

1